



～応募総数640冊。“写真集”の公募展、出版化される大賞作品決定！～

BCKKS, Little More共催

littlemoreBCKKS第一回「写真集公募展」

<http://littlemore.bccks.jp>

最終審査結果発表のお知らせ

株式会社BCKKS（ブックス）〔本社：東京都品川区代表取締役山本祐子〕は、株式会社リトルモア〔本社：東京都東京都渋谷区／代表取締役：孫家邦〕と共催で、Webメディアを利用した新しい形式による写真公募展として“littlemoreBCKKS第一回「写真集公募展」”を開催、2008年8月8日（金）より公募を開始し、10月27日（月）に受付を終了しました。この3ヶ月弱に渡る期間での応募総数は640作品、うち、下記入選作品ほか各賞の発表を11月28日（金）に同サイトにて発表しました。

今回の応募展では、名だたる審査員達はそのクオリティーの高さに驚かされました。写真として、本として、個性的で新しい試みがされた640冊は圧巻の一言。「写真ではなく“写真集”の公募だったこと」、「応募と同時に公開されたこと」が、第1回目にして、高いクオリティーの公募展の実現につながりました。

<各賞>

- 大賞・・・1作品 リトルモアから来春、写真集として印刷・出版の他、デジタルカメラなど
- 審査員賞・・・8作品 デジタルカメラなど
- リトルモア賞・・・1作品
- ユーザー賞・・・3作品 デジタルカメラなど（※ユーザーの反応を元に、BCKKSで1～3位を選考）
- 入選・・・17作品

大賞ほか各賞および入選作品については、2009年1月10日（土）～25日（日）、リトルモア地下にて「受賞作品展覧会」を開催予定です。また、12月上旬～中旬にかけては、今回の審査会の模様をまとめたドキュメンタリーブック「審査会BCKK」のほか、受賞作品への講評と受賞者のコメントをまとめた「受賞者BCKK」を随時アップする予定です。

※この公募展は、誰もがweb上で「本」のようなメディア（ブック）を作れる、新しいコンセプトのwebサービス「BCKKS」（2008年2月28日よりテストサイトオープン）の仕組みを使い、「写真・編集・デザイン」における新しい可能性と出版の形を追求した、かつてない「写真集」形式の公募展です。web上での（BCKKS専用フォーマットによる）写真の編集からデザインまでを含めた“写真集という形式での公募”、さらに、開催中も一般ユーザーが応募作品を閲覧したり、書評が書き込めたりすることができるという“相互性”、この二つの新しい試みに加え、最終審査では第一線で活躍中のデザイナーや写真家により、大賞ほか審査員賞などを決定いたしました。



上図) 大賞ほか各賞最終結果発表画面イメージ 【001】

※本資料内の画面素材は全てイメージです。
実際と異なる場合がございます。





審査員/大森克己による総評コメント

「従来、写真集をみるという行為は、手に持った感触、重さ、紙の質感、匂いなんかを感じるあたりから入って行く、体育のような振る舞いだっただと思うんですが、bccksで写真集をみるのは、なんかいきなりの内視鏡検査みたいな感じがしました。（大きくいえばやっぱり体育なんだけど）

で、まず応募者の編集能力の平均値の高さに驚いた。これはもう後戻りできない感じですね。それゆえに、紙一重なんだけど、「すぐれた写真集」と「すぐれた写真集のプレゼン」との違いがすごく気になったし、やっぱり「編集」ということが動機になっている表現はつまらなくて、「編集不可能な何か」と格闘するところから始まっている表現は素晴らしい、少なくとも誰かが必要とするものになっているなあ、と思いました。

デジタル写真はスゲえなというのも、今さらながらに感じました。ハイライトの情報量の無さと一つのイメージに対する人間の滞空時間の短さ。なんか「想いで」の質というものがすごいスピードで変わっているよね。3秒前がもう懐かしいよ！

銀塩写真が持つ「お祝い」と「呪い」の力っていうのも、やっぱスゴイっす。ハイエスト・ハイライトですら何かが宿ってしまう強さ、もしくはうっとうしさ。

つまり、あたりまえだけど、アウトプットがどのような形であれ、一番最初のスキャニング（あるいは撮影ともいう）が重要だな、とも素朴に思いました。そこが一番嘘がつけないところですよ。無意識の入り口ね。

大賞受賞作「varnish and mortar」、静かな野心にあふれた素敵な「デビュー作」だと思います。気になる作品はたくさんあったけど、この作品が一番「デビュー作」っぽかった。あと、多分この作者、デジタルにおける「真心の込め方」～アナログにおけるよく切れるナイフの研ぎ方みたいなこと、をよく御存知のようにお見受けしました。心のこもったものってやっぱりいいもんです。おめでとうございます。

次回応募される方は応募要項よく読んで下さいね。結構大切なこと、書いてあります。

来年も楽しみにしてます。」

大賞・審査員賞・リトルモア賞



大賞 『varnish and mortar』永井祐介
<http://bccks.jp/bcck/19389>
【002】



審査員賞/葛西薫 『AO NATU』中川大祐
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/17514>
【003】



審査員賞/中島英樹 『anywhere and nowhere』monikajunker
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/18325>
【004】



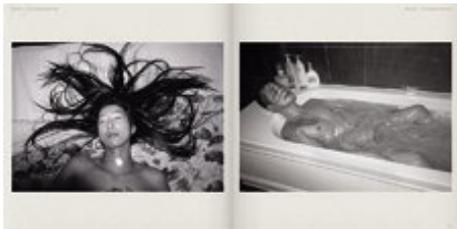
審査員賞/服部一成 『いとしのユーカ』kazu.t
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/19216>
【005】



審査員賞/松本弦人 『Hach schoon!』成田舞
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/18059>
【006】



審査員賞/宇壽山貴久子 『ふきそくへんか』shiho
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/16530>
【007】



審査員賞/梅佳代 『青春吉日』梁丞佑
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/19323>
【008】



審査員賞/大森克己 『瞬きするモデル』伊藤いずむ
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/18492>
【009】



審査員賞/瀧本幹也 『とら』橋本大和
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/20192>
【010】



リトルモア賞 『虹のでるカメラ』高橋宗正
<http://littlemore.bccks.jp/bcck/20142>
【011】



ユーザー賞



ユーザー賞1位

『GOODBYE-TAMPOPO』林千絵

<http://littlemore.bccks.jp/bcck/18601>

【012】



ユーザー賞2位

『いただきますってだれに言う?』黒木榮一

<http://littlemore.bccks.jp/bcck/16407>

【013】



ユーザー賞3位

『Funnily Happy』前島圭一郎

<http://littlemore.bccks.jp/bcck/16300>

【014】

<公募展概要>

● イベント名

LittlemoreBCCKS 写真集公募展

● 公募

テーマは問わず、「写真集」形式のブック

● 公募資格

年齢、性別、プロ、アマ一切問わず

※但し、BCCKS会員登録し、BCCKS公募専用フォーマットで作成した作品

● 賞

大賞／1作品 リトルモアより写真集として出版 など

審査員賞／8作品 デジタルカメラなど

ユーザー賞／3作品 デジタルカメラなど

リトルモア賞／1作品

入選17作品

※ユーザー賞は、読者の反応をもとにBCCKSで選考。

● 開催場所

<http://littlemore.bccks.jp/>

● 公募期間

2008年8月8日(金)～10月27日(月) 12:00受付終了

● 審査発表

2008年11月11日(火) 一次通過作品発表

2008年11月17日(月) 二次通過作品発表

2008年11月28日(金) 最終審査発表

※2009年1月10日(土)～25日(日)、リトルモア地下にて「受賞作品展覧会」を開催予定

● 審査員

写真家 : 宇壽山貴久子、梅佳代、大森克己、瀧本幹也

デザイナー : 葛西薫、中島英樹、服部一成、松本弦人

編集者 : 吉澤藤佳 (BCCKS)、孫家邦 (リトルモア代表)、大嶺洋子 (リトルモア)

● 協賛

株式会社リコー、アドビ システムズ株式会社、アドカード

● 主催

株式会社BCCKS、株式会社リトルモア との共催



審査員プロフィール

宇壽山貴久子 kikuko usuyama /写真家

大学進学と同時に上京し、写真を始める。97年渡米後、ニューヨークと東京を拠点に活動し現在に至る。2002年「犬道場」にてキャノン写真新世紀奨励賞受賞。様々な雑誌、ウェブサイト、広告などで活躍中。

梅佳代 kayo ume /写真家

写真集に、「うめめ」「男子」(リトルモア)。主な写真展に、「うれしい連続」、「SHUTTER CHANCE FESTIVAL」(イギリス・ロンドン)、受賞記念写真展「うめめ」(コニカサロン)、「うめめ：ここは石川県の部屋 梅佳代写真展」(金沢21世紀美術館)。受賞歴：写真新世紀にて「男子」と「女子中学生」で2回の佳作。第32回木村伊兵衛写真賞受賞。

大森克己 katsumi omori /写真家

主な写真集に「VERY SPECIAL LOVE」「サルサ・ガムテープ」「Cherryblossoms」(リトルモア)、「2760017」(PIE BOOKS)「encounter」(マッチアンドカンパニー)、「サヨナラ」(愛育社)など。写真新世紀にてロバートフランク賞受賞。

瀧本幹也 mikiya takimoto /写真家

カネボウ、パルコ、ユナイテッドアローズなどの広告写真の他、キリンラガービール、ユニクロのテレビCMなど。写真集に「BAUHAUS DESSAU」(PIE BOOKS)「SIGHTSEEING」(リトルモア)など。受賞歴：東京ADC賞、ニューヨークADC賞、日経広告賞グランプリ、カンヌ広告祭入賞、ACCゴールド受賞。

葛西 薫 kaoru kasai /アートディレクター・グラフィックデザイナー

主な広告に、サントリーウーロン茶、ソニー、西武百貨店、ユナイテッドアローズ等。主な装幀に、藤井保写真集「ESUMI」(リトルモア)上田義彦写真集「FLOWERS」。主な著書に、「MoDERN」(六耀社)、「葛西薫の仕事と周辺」(六耀社)。受賞歴：東京ADC最高賞、東京ADC会員最高賞、朝日広告賞、毎日広告デザイン賞優秀賞、JAGDA新人賞、TDC会員部門銀賞、読売広告大賞金賞、講談社出版文化賞ブックデザイン賞、他。東京ADC、東京TDC、JAGDA会員。

中島英樹 hideki nakajima /アートディレクター・グラフィックデザイナー

主な著作に、作品集「REVIVAL」(ロッキングオン)、「中島英樹の仕事と周辺」(六耀社)など。主な所蔵作品に、ニューヨーク近代美術館(MoMA)、フランス国立図書館(BnF)。ニューヨークADC金賞・銀賞多数、東京TDCグランプリ、講談社出版文化賞、ningbo 第3回国際ポスタービエンナーレ2004/wang xu賞など。AGI、ニューヨークADC、東京ADC、東京TDC会員。

服部一成 kazunari hattori /アートディレクター・グラフィックデザイナー

主な広告に、キューピー、キリン、JR東日本など。主なエディトリアルに、流行通信(インファスジャパン)、「ホンマタカシ写真集 STARS AND STRIPES」(マガジンハウス)など。森美術館「ビル・ヴィオラ展」(2006)、東京国立近代美術館「ドイツ写真の現在」展(2005)等のグラフィック。東京ADC会員賞、東京TDC会員賞、第6回亀倉雄策賞など。東京ADC会員。

松本弦人 gento matsumoto /アートディレクター・グラフィックデザイナー

主な著書に「松本弦人の仕事と周辺」六耀社、「NOT DIARY BOOK」リトルモア。主な著作物に「JUNGLE PARK」デジタログ、「動物番長」任天堂。主な装幀に、「花火」「うたたね」川内倫子(リトルモア)、「ポップ中毒者の手記」川勝正幸など。TDC賞、マルチメディアグランプリ通産大臣賞、ADC賞、NEW YORK DISK OF THE YEAR グランプリ、東京TDC会員。



■株式会社リトルモア 本社所在地：東京都渋谷区／代表取締役：孫 家邦

写真集、画集、文芸書、実用書、エッセイ集、デザイン書等の出版を中心に、映画製作、展覧会・劇場スペースの運営などにおいて独自の視点で作品を送り出し、カルチャーの第一線をつくりつづける。

【主な写真集】

『POLAR』石川直樹、『at Home』上田義彦、『うめめ』『男子』『じいちゃんさま』梅佳代、『Cherryblossoms』大森克己
『SIGHTSEEING』瀧本幹也、『TOKYO NOBODY』中野正貴、『夜間飛行』野村佐紀子、『A KA RI』藤井保、
『small planet』本城直季、『族』吉永マサユキ

【その他の主な出版物】

『INOUE TSUGUYA GRAPHIC WORKS 1981-2007』井上嗣也、『板尾日記シリーズ』板尾創路、
『VEGE BOOKシリーズ』CafeEight、『幸せな王子』『人魚姫』絵：清川あさみ、『間取りの手帖』佐藤和歌子、
『ドロップ』品川ヒロシ、『ぼくは猟師になった』千松信也、『UKIYO』奈良美智、『アクロバット前夜』福永信、
『ブローチ』『アンドゥ』渡邊良重

【主な雑誌】

『真夜中』2008年創刊の新雑誌。言葉で写真で絵でデザインで表現し続ける、様々な作家たちが参加。
『snoozer』洋楽と邦楽の差別なく、ロックに限らず幅広くカルチャーを独自の視点で伝える音楽雑誌。田中宗一郎責任編集。

【主な映画】

『空中庭園』製作・配給（監督：豊田利明、原作：角田光代、出演：小泉今日子、板尾創路、大楠道代）
『東京タワー オカンとボクと、時々、オトン』製作（監督：松岡錠司、原作：リリー・フランキー、脚本：松尾スズキ、
出演：オダギリジョー、樹木希林、松たか子、小林薫）
『ジャーマン+雨』配給（監督・脚本：横浜聡子）
『フレフレ少女』製作（監督：渡辺謙作、主演：新垣結衣）

2009年 初夏公開予定『ウルトラミラクルラブストーリー』（監督・脚本：横浜聡子、出演：松山ケンイチ、麻生久美子）

関連サイト：<http://www.littlemore.co.jp/>

■BCKKS 本社所在地：東京都品川区／代表取締役：山本祐子

webの「本」を作ることができる新コンセプトのCGM (Consumer Generated Media) サービスサイト。

用意されている様々な書籍や雑誌のテンプレートを使って、web上に「雑誌」や「写真集」「日記」といった「本」のようなメディア（ブック）を、誰でも簡単に作ることができる。デザイナー松本弦人が、コンセプトデザインおよびアートディレクションを手掛け、さまざまな経歴や経験を持ったメンバーが集まり、「編集」「デザイン」を切り口にこれまでにない新しいwebの可能性を追求。webの上に「もうひとつの本の形=BCKKS」を提案していく。株式会社BCKKS（ブックス）<2007年7月設立>により、2007年8月にプレサイトをオープン、2008年2月28日からオープンテストを開始。デザイン、写真、イラストなど各界で活躍中の方々から一般の方々まで参加いただきながら、展開中。今回の「写真集公募展」の公募開始に合わせて、大幅リニューアルを行い、今後もさらに編集機能や各種サービスの充実、出版社をはじめとした様々な企業や団体との企画を計画。月間訪問者数100万、月間推定PV数2500万／実PV数500万※（2008年8月末時点）

※BCKKSでは、システムの関係で8見開き（ページ）分を一折として、1PVとカウントされるため、実PV数を元に独自の計算により推定PV数を算出

関連サイト：<http://bckks.jp/>
<http://littlemore.bckks.jp/>
<http://tdc.bckks.jp/>

▼ご提供素材のご案内

本件に関して、素材データ一式をご用意していますので、ご要望ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社BCKKS（ブックス）担当／安藤・吉澤 e-mail：press@bckks.jp tel：03-3440-7478
株式会社リトルモア 担当：大嶺・松本 / e-mail：publicity@littlemore.co.jp tel：03-3401-1042

*上記連絡先は報道関係者様向けですので、貴メディアへの掲載はご遠慮下さい。



上図) BCKKS HOME（トップページ）
【015】